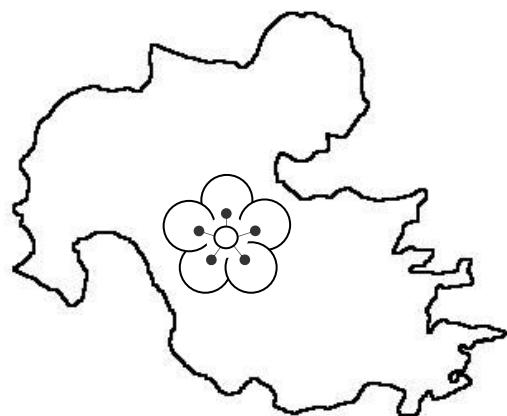


第 41 回

大分県臨床細胞学会

総会および学術集会

プログラム



会 期 2026 年 2 月 21 日 (土) 12:30 ~ 17:40

会 場 大分県立病院講堂 (3 階)

〒870-8511 大分市豊饒二丁目 8 番 1 号

TEL : 097-546-7111, 7112

主 催 がん診療連携拠点病院機能強化事業

後 援 大分県臨床細胞学会

ご案内

1. 受付

総合受付は日本臨床細胞学会会員カード読み取りで行います。会員カードをご提示ください。

また産婦人科の先生方は、「日本産科婦人科学会会員証（JSOG カード／JSOG アプリ会員証）」を合わせてご提示ください。

細胞検査士の方は、単位証明帯を受付でお渡しします。

細胞診専門医の先生方に学会参加証（単位認定証明）を受付でお渡しします。

2. 参加費

2025 年分の年会費納入済みの方、学生の方は無料です。

年会費未納の方は納入後にご参加ください。

3. 学会会場

学会会場は、大分県立病院 講堂（3 階）です。

車でお越しの際は外来駐車場をご利用ください。駐車券を用意いたします。

4. 感染予防対策

病院内での開催のため学会参加者は、マスク着用をお願いいたします。

なお、発熱がある場合は学会参加をお控えください。

5. 発表される方へ

発表データは Power Point 2019, 2021, 2024 で作成してください。

発表の 10 分前までに次演者席にお着きください。

* 発表演題に関する利益相反（COI）の開示について

筆頭演者ご自身の過去 1 年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に
関わる利益相反の有無をスライドタイトルページに続いて次のページで開示してください。

6. 一般演題演者、スライドカンファレンス演者の方へ

一般演題の発表時間は 7 分、質疑応答は 3 分です。時間厳守でお願いします。

スライドカンファレンスは、症例提示、細胞像の読み、集計結果提示、解説、質疑応答を含め
1 症例 20 分を想定しております。時間厳守でお願いします。

発表用 PC 環境は、Windows11、ソフトは Power Point2024 です。送付前に必ず動作を確認して
ください。

今回より発表データは事前送付となりました。

2026 年 2 月 13 日必着にてご送付頂きますようお願い申し上げます。

【送付先】

大分県臨床細胞学会 県内事務局
大分大学医学部附属病院
病理診断科・病理部 平川 功二
TEL : 097-586-6046
E-mail : h-koji@oita-u.ac.jp

【送付方法】

ファイル転送サービス「データ便」(URL : <https://www.datadeliver.net/>) をご使用ください。

7. 教育講演、特別講演の先生方へ

予定時刻の30分前までに受付をお済ませの上、スライド受付をお願いいたします。
スライド受付の際には、試写に立ち会いをお願いします。

8. 座長・司会の方へ

予定時刻の30分前までに受付をお済ませください。
開始前までに座長席にお着きください

9. スライドカンファレンス

大分県臨床細胞学会ホームページに掲載された画像をみて、Google Formsにて回答してください。
Google FormsのURLなどスライドカンファレンスに関する詳細は、後日メールにて会員に周知いたします。

【開会あいさつ】

12:30~12:40

学会長 ト部 省悟（大分県立病院 臨床検査科病理部）

【一般演題】

12:40~13:10

座長：門脇 裕子（大分大学医学部 診断病理学講座）
木本 元子（大分赤十字病院 検査課）

1 頸部リンパ節のFNAで発見された上咽頭癌の一例

株式会社 QCL 大分病理¹⁾
豊後大野市民病院 臨床検査科²⁾
大分大学医学部 診断病理学講座³⁾
大分大学医学部 附属病院 病理診断科・病理部⁴⁾
○堤 潤也¹⁾ 川村 友美¹⁾ 釘宮 弥里¹⁾ 稲葉 千枝¹⁾ 佐藤 花厘¹⁾
稻野 智子¹⁾ 大森 瑠美¹⁾ 大森 博人¹⁾ 板井 圭司²⁾ 西田 陽登³⁾
駄阿 勉^{3) 4)}

2 被包型乳頭癌の1例

大分県立病院 臨床検査科 病理部¹⁾
大分県立病院 臨床検査科 検査研究部²⁾
大分県立病院 臨床検査科 臨床検査技術部³⁾
○草場 敬浩¹⁾ ト部 省悟¹⁾ 加島 健司²⁾ 田中 百香³⁾ 後藤 裕幸³⁾
鳥越ハルミ³⁾ 佐藤 恭子³⁾ 山下佐知子³⁾ 和田麻由美³⁾ 溜島明寿香³⁾
阿部 史海³⁾ 衛藤 莉和³⁾ 伊井野大輝³⁾

3 診断に苦慮した類上皮型GISTの1症例

国立病院機構 別府医療センター 研究検査科¹⁾
国立病院機構 別府医療センター 病理診断科²⁾
○松尾 貴弘¹⁾ 後藤 優加¹⁾ 丸山 晃二¹⁾ 中園 裕一²⁾

座長：近藤能行（大分県厚生連鶴見病院 病理診断科）
清岡征司（大分大学医学部 附属病院 病理診断科・病理部）

症例1 大分市医師会立アルメイダ病院 病理診断科 和田 純平

症例：80代 男性

検査材料：胸水

病歴：近医で胸水貯留の指摘あり、前医受診した。精査の結果、胸水貯留と両側腋窩リンパ節腫大を認めた。前医で胸水細胞診と腋窩リンパ節生検施行後、当院転院となった。当院でも再度、胸水細胞診が施行された。
今回提示するのは、当院転院後に施行された胸水細胞診の細胞像です。

- 選択肢：
1. 反応性中皮細胞
 2. 悪性中皮腫
 3. 腺癌の転移
 4. 扁平上皮癌の転移
 5. 悪性リンパ腫

症例2 大分県立病院 臨床検査技術部 田中 百香

症例：40代 男性

検査材料：リンパ節捺印

病歴：1か月前より発熱と頸部リンパ節の腫脹が出現した。前医を受診し抗生素、解熱剤で治療されるもコントロール不十分のため当院を紹介受診した。血清学検査ではLDH、sIL-2R、フェリチンの上昇を認め、CRPは低値であった。左後頸部に連なって腫大したリンパ節を触知したため、生検検査が施行された。

- 選択肢：
1. 猫ひつかき病
 2. 組織球性壞死性リンパ節炎（菊池・藤本病）
 3. バーキットリンパ腫
 4. びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
 5. ALK陽性未分化大細胞リンパ腫

症例 3 大分大学医学部 診断病理学講座 小山 雄三

症 例：70代 女性

検査材料：腹水

病 歴：1か月前より食欲不振、腹部膨満感で前医を受診し、腹部エコー検査で大量腹水、肝腫瘍を認めた。画像検査では腹腔内や腹膜の多発結節、脾腫瘍、多発肝腫瘍、多発肺結節、多発皮下結節、多発リンパ節腫大がみられたが原発巣ははつきりしない。上下部内視鏡検査では胃に多発潰瘍が認められ、内視鏡的には原発不明癌の胃壁転移ないしはリンパ腫を疑う像であった。同部位への生検を施行している（腫瘍が含まれており、前医検査中）。血液検査で腫瘍マーカーは CA-125、可溶性 IL2-R、シフラーの上昇を認めた。臨床的に腹膜癌の可能性も示唆され、当院紹介し受診され、腹水穿刺が行われた。

- 選 択肢：
- 反応性中皮細胞
 - 悪性中皮腫
 - ホジキンリンパ腫
 - 悪性黒色腫
 - 未分化癌

【総会】

14：30～15：10

【教育講演】

15：20～16：20

座 長： 高井 教行（大分労働衛生管理センター）

『子宮頸部の細胞診－腺系病変を中心として』

虎の門病院 病理診断科・病理部 部長 高澤 豊 先生

【特別講演】

16：30～17：30

座 長： 卜部 省悟（大分県立病院 臨床検査科病理部）

『唾液腺腫瘍の特徴と唾液腺細胞診ミラノシステム』

沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院 病理診断科部長 樋口 佳代子 先生

学会長 ト部 省悟（大分県立病院 臨床検査科病理部）